

プログラム名	海水浴		時間	約2～3時間
ねらい	1 海で泳ぎ、砂浜で遊ぶ体験をとおして、海の美しさや恩恵に対する興味や関心を育てる。 2 自然保護の心を培う。			
活動内容	1 活動形態 → 自由（安全面からバディシステムをとる） 2 【「玄海の家」海水浴実施の手引き】により実施する。 （団体は事前に海水浴実施計画書を提出）			
対象	制限なし	活動可能人数	総数200名程度	
展開例	<p>1 事前打ち合わせ（「玄海の家」海水浴担当者、団体代表者 約10分）会議室</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 気象条件、参加人員、参加者の健康状態、活動内容、監視体制、使用ロッカー、海浜集合時刻等の確認 <p>2 事前指導（団体指導者 約30分）</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 着替え（宿泊室・研修室） ② 着替え置き（海浜出入口のロッカー） ③ 準備運動・諸注意・バディの確認（運動広場） ④ 集合（海浜） <p>※キャンプ場利用団体については、着替えはテント</p> <p>3 海水浴（「玄海の家」海水浴担当者、団体指導者 約1時間30分）</p> <p>海浜清掃（10分）→ 海水浴（20分）→ 休憩（10分） → 海水浴（20分）→ 休憩（10分）→ 海水浴（20分）</p> <p>4 事後指導（団体指導者 約30分）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ シャワー（海浜出入口）→ 着替え（海浜出入口更衣室） 			
実施上の留意点	1 事前打ち合わせで確認したこと（人員点呼、集合時刻、監視体制等）は各団体が責任を持って確実に行う。 2 海水浴は、活動20分・休憩10分の3回の繰り返しを原則としているが、気象条件・団体の活動時間等により変更できる。 3 監視・泳域制限ロープの設置等は「玄海の家」と団体が協力して行う。 4 活動中は水泳帽子の着用を厳守する。 5 紫外線による火傷防止のための着衣（ラッシュガード、Tシャツ等）は着用可。 6 レクリエーション（すいか割り、砂遊び等）の計画ある場合は事前に連絡する。 ＊ すいかは食堂で購入可(0940-62-3362) ＊ すいか等の生ゴミは指定の場所で団体で処理する。 7 浮き輪、ビーチボール、ゴムボート等遊具の持ち込みは原則禁止。 8 活動中は屋外トイレを使用する。 9 更衣室・ロッカーは指導者が責任を持って最後に点検する。 <u>（雑巾を使った乾拭き清掃も含む。）</u>			
引率者の役割	総括責任者（1名）、水際監視（2名）、海中監視（参加者30人につき1名）			
「玄海の家」で準備できる物	泳域制限ロープ、救命用浮き輪、救急医薬品、救急用水 すいか割り道具（棒、包丁、まな板、スコップ、ブルーシート）			
利用団体で準備する物	タオル、水泳帽子、ビーチサンダル、救急医薬品、水筒			